

■ 新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ ■

市内の発生状況（令和2年12月14日時点）

【大阪府の報道発表資料をもとに作成しています。】

※ 11月16日(月)から内容が変更されました。

※ 最新情報はウェブサイトをご覧ください。

☎ 災害対策課

累計
205

新型コロナ総合相談窓口が開設

新型コロナウイルス感染症に関わる健康相談や生活支援、家庭支援など総合的に相談に応じます。

受付 平日 9:00～17:30 ☎ 072-947-0112（直通）

「大阪府緊急雇用対策特設ホームページ」が開設

大阪府と民間人材サービス事業者が連携し、求職活動中の皆様に、希望する雇用形態等に応じた求人情報（2万件以上）を提供しています。また、求職者登録をしていただくことで、さまざまな就職支援サービスの利用も可能となります。

☎ 大阪府雇用促進支援金事務局

☎ 06-4797-7050

HPはこちらから→



中止となったイベントなど（定例実施）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を見送らせていただくこととなりました。

● 令和3年消防出初式【災害対策課】

● 新春「書き初め大会」【陵南の森公民館グループ連絡協議会主催】

国民健康保険の被保険者・後期高齢者医療の被保険

【新型コロナウイルス感染症に係る「傷病手当金」の適用期間延長（令和3年3月31日まで）】

令和2年6月号および10月号広報でご案内した「傷病手当金」の適用期間が「令和3年3月31日まで」延長となります。傷病手当金の受給には申請が必要です。事前に電話でお問い合わせください。申請に必要な申請書等をご案内します。

☎ 保険年金課国民健康保険給付担当・後期高齢者医療担当

市税の徴収猶予の特例制度

新型コロナウイルス感染症の影響により事業等に係る収入に相当の減少があった方で、一時に納付・納入が困難な方は、1年以内の期間で、市税の徴収猶予を受けられる場合があります。該当の場合、猶予実施に伴う担保の提供はありません。また、申請該当分は延滞金がかかりません。

申請の期限がありますので、対象となる要件や手続きなどの詳細は、下記担当までお問い合わせいただくか、市ウェブサイトをご覧ください。

☎ 税務課納税担当

中小事業者等が所有する対象資産に係る固定資産税及び都市計画税の軽減

新型コロナウイルス感染症の影響により、事業収入が減少した中小事業者等が所有する対象資産に係る固定資産税及び都市計画税を令和3年度課税の1年分に限り軽減します。

対象・事業用家屋に係る固定資産税・都市計画税
・償却資産に係る固定資産税

※対象となる事業用家屋は、工場や店舗などの事業の用に供している部分（事業用と居住用が一体となっている家屋は、事業専用割合に応じた部分）のみであり、居住の用に供している部分は対象外です。 ※土地は軽減の対象外です。

【要件・軽減割合】令和2年2月～10月で任意の連続する3カ月間の事業収入を前年同期間と比較

事業収入減少率	軽減割合
30%以上 50%未満	2分の1
50%以上減少	全額免除

申込 申告書（市役所ウェブサイトからダウンロード可）に必要な事項を記入の上、認定経営革新等支援機関等の確認を受けたのち、確認の際に添付した書類一式（写し可）を添えて、令和3年1月4日(月)～2月1日(月)の期間に、例年の償却資産申告書と併せてご提出ください。

☎ 税務課固定資産税担当

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話することで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼ラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。

場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。

場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。